

今年の夏は暑い！・・・？

昨年は冷夏、おまけに天候不順で牧草が採れなくてタイヘンでしたが、家畜にとっては過ごしやすかったのかもしれないね。

今年の夏の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みと予報されています。平年並みってコトは昨年に比べたらアツイ！ということですよ。

ということは、例年のごとく「暑熱対策を徹底しよう」となるわけですが、今までの夏と、今年の夏、牛に関して大きく異なっています。そう、24ヶ月齢以上の死亡牛にBSE検査が義務づけられたので、牛舎で牛が死んでしまうとタイヘン大きな痛手です。

もう一度基本に立ち返って、おさらいしておきましょう。
ポイントは3つ

体温を下げてやる
エサ食いを落とさない
キレイな水をたっぷり飲ませる

詳細は裏面へどうぞ

大切な家畜たちが、無事夏を乗り切れるよう、優しくケアしてあげましょう。

飛騨家畜保健衛生所

高山市上岡本町7 - 468

(0577)33-1111 Fax 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

異常など確認された場合には、至急ご連絡ください。

体温上昇の抑制

外部からの熱の侵入防止

- ・屋根、壁への断熱材利用、白色系塗料の塗布、屋根への散水
- ・遮光ネット等を利用による直射日光の遮断

牛体からの熱放散促進

- ・大型扇風機、ダクト送風機、スポットエアコン等による送風
(体熱が蓄積される夕刻から夜間にかけての送風が有効)
- ・細霧装置による散水
(送風機との併用が効果的、湿度管理に注意が必要)
- ・牛体の毛刈り
- ・夜間放牧を実施し、飼育密度を低下

熱発生量の少ない飼料の給与

- ・消化性の優れた良質粗飼料の給与
(粗剛なものほど熱発生量が多い)



採食低下による栄養不足の防止

エネルギー摂取量の確保

- ・高エネルギーで嗜好性の高い飼料の給与
- ・夜間に飼料給与を実施
- ・分離給与の場合は粗飼料から。給与回数を増やすことによる必要摂取量の確保

牛体の健康、食欲増進

- ・飼料添加剤(ビタミン、ミネラル、バッファー等)の利用)

乳房炎の防止

畜舎及び牛体の清潔保持

- ・クモの巣除去を含めた畜舎の清掃
- ・牛体の洗浄及び乾燥
- ・牛床の乾燥

室温管理

風通しを良くすることにより、外気温に近づけること

- ・強制送風装置による室内空気の入替え
- ・細霧装置の頻回運転
- ・屋根、壁へ断熱材利用、白色塗料の塗布、屋根へ散水
- ・遮光ネット等を利用による直射日光の遮断

母豚管理

- ・送風(体感温度の低下)
- ・頸部滴下装置の運転
- ・涼しい時間帯(早朝・日没後)での飼料給与
- ・涼しい時間帯での移動・交配
- ・高エネルギーの飼料給与
- ・給水器の点検



雄豚管理

- ・複列豚舎では、北側に収容
- ・精液性状の確認
- ・送風(体感温度の低下)
- ・涼しい時間帯(早朝・日没後)での飼料給与
- ・涼しい時間帯での移動・交配

肉豚管理

- ・飼育密度の低下(通常80%程度)
- ・給水器の点検

出荷管理

- ・涼しい時間帯での出荷
- ・輸送時の頭数密度の減

鶏舎環境の整備

- ・屋根、壁へ断熱材、白色塗料の塗布、屋根へ散水
- ・遮光ネット等を利用による直射日光の遮断

熱放散促進

- ・扇風機、ダクト送風機、スポットエアコンによる送風
(体熱が蓄積される夕刻から夜間にかけての送風が有効)
- ・細霧装置による散水(送風機との併用が効果的)

飼料給与と給水

- ・昼間の絶食、早朝、夜間の給餌
- ・飲料冷水の十分な補充



輸送管理

- ・輸送羽数密度の減少、夜間輸送